高台避難 3者連携

阿南の企業・県民局・防災館

津波訓練

海から500㍍ほど離れた阿南市津乃峰町にある岡部機械工業が26日、南部総合県民局や県立南部防災館と協力して、津波の際に高台へ避難する訓練に取り組んだ。

負傷者を搬送しながら避難する訓練に取り組む社員ら＝阿南市津乃峰町

同社はこれまでも訓練を重ねてきたが、県との連携は初めて。社員ら約50人が参加し、防災館の防災士から、シャツを三角巾にして、傘や電話線を添え木にする応急処置の方法を学んだ。その後、けが人を搬送しながら約100㍍離れた神社まで避難。非常食を試食したり、救助時に役立つほどけにくいロープの結び方を教わったりもした。

県の想定によると、南海トラフ巨大地震が起きた場合、津乃峰地区は高さ4、5㍍ほどの津波に襲われる可能性がある。社員の久積毅士さん(28)は「いざというときに訓練の成果を生かせるかどうかが重要」と気を引き締めていた。（渡辺元史）

©朝日新聞社 2014 47573号（日刊）

朝日新聞

2014年（平成26年）
4月27日
日曜日

経済6面／国際9面
読書13.14.15.16面
Reライフ18.19面
小説20.25面
スポーツ22.25.26.27面
囲碁将棋25面
地域31面
生活33面／子育て35面
TVラジオ36.37.40面

朝日新聞大阪本社
〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18
電 (06)6231-0131 www.asahi.com

徳島新聞

発行所 徳島市中徳島町2丁目5番地2（〒770-8572）
徳島新聞社
電話（088）655-7373
© 徳島新聞社 2014

2014年（平成26年）
5月3日
土曜日

避難路や救護法確認

阿南の会社が津波訓練

南海トラフ巨大地震に備えた津波避難訓練が、阿南市津乃峰町の産業用機械メーカー岡部機械工業であり、従業員45人が負傷者の救護手当てや避難経路を確認した。

地震による激しい揺れで、3人が手足などを負傷したとの想定で実施。県立南部防災館（福井町）の谷本壽廣館長が、傘やタオルなど身の回りの物で手足を固定する応急処置法を紹介した後、参加者は負傷者を台車に乗せるなどして会社から数百㍍離れた神社に搬送した。

負傷者を搬送する訓練に取り組む参加者＝阿南市津乃峰町

梅山和久さん(41)は「けが人がいると、避難時間は何倍にも膨らむ。仕事中に地震が起きても素早く対処できるよう、繰り返し練習したい」と話した。県によるロープワークの講習や備蓄食料の試食もあった。（阿部研一）